



豊小だより

2020.10.16



感染対策をしながらの校内体育大会



10月6日、校内体育大会が開かれました。準備・練習の段階から当日まで、新型コロナウイルス感染防止対策を様々に行いながらの大会となりました。今号は、ホームページに掲載した記事でその足跡をたどり、子供たちの成長を振り返りたいと思います。

9月4日大会に向け、初めて「走って走って8の字ジャンプ」の全体練習をしました。班ごとに校庭いっぱい広がって、集まった子から自然に練習が始まりました。最後に、2分間で何回跳んだか数え、その結果をもとに次の練習のめあてについて話し合いました(その後、3回練習を行いました)。



9月7日朝のさわやかタイムに、3~6年各学級の代表と児童会の各委員長が集まってみのり議会を開き、大会のスローガンを決めました。各学級から提出された案を基に話し合いました。下学年生からも積極的に意見が発表され、参加者全員でよりよいスローガンを考えることができ、「赤黄青 全力出し切れ!限界突破 みんなの力は無限大」に決定しました。



9月14日委員会活動で大会の準備を行いました。各委員会に割り当てられた企画運営の仕事を進めました。スローガンの掲示物や会場の看板、得点板、賞状の作成、全校の前で手本として行うラジオ体操、徒競走の審判や閉会式の表彰状を渡す練習をしました。大会まであと15日!みのりっ子の知恵とアイデア、協働して創り上げる力を発揮できる大会にすることを合い言葉に支援していきました。



9月16日今年の大会では、応援合戦を感染対策バージョンに見直しました。その一つとして、各色で考えたダンスを披露することにしました。全員で練習することができないので、振り付けを考えた6年生の応援リーダーが5・6年生全員に伝授し、それを下学年に教えることにしました。今回は5年生が3年生と4年生に、6年生が2年生に教えました。各教室に分かれ下学年に教えることを通して、高学年としての自覚と自信を付けたようです(9月28日には、1、2、3年生に手拍子やダンスを教えました)。



9月24日お昼の校内放送で各色の応援団長が生出演し、全校のみんなに向けてメッセージを送りました。テレビ画面を通して、大会が盛り上がるよう協力してほしいという思いを伝えました。子供たちは、色ごとに精一杯の大きな拍手で大会に向けた意気込みを表しました。大会まであと8日!盛り上がってきました。



9月25日開閉会式の練習日ですが、あいにくの雨。体育館に集まることができないので、初めて放送室と各教室を結ぶリモート式で行いました。開始前に、『コロナだからできない』ではなく、『コロナだからこそできる』大会にしよう。自分が頑張る、できるようになることを見つける練習にしようという指導がありました。放送委員会などの委員会が本番どおり進行しながら、開閉会式の流れを全校で確認しました。どの教室も集



中して取り組むことができ、リモートならではの練習ができました。

10月1日朝方降った雨で濡れていた校庭が乾き、5校時に応援合戦の練習を外で行いました。応援席は前後左右1メートル空け、応援リーダー以外はマスク着用。声を出すのは、応援リーダーだけ。応援団が声を出すのはわずか。応援リーダーの指揮の下、部分練習をした後、通し練習を3回行いました。練習後に応援合戦の順番をジャンケンで決めました。黄、青、赤の順番になりました。

10月2日体育大会の予行練習を行いました。開閉会式、1・2年生の徒競走、リレー、応援合戦のリハーサルを行いました。審判や得点集計、司会など、系の仕事の確認もしました。大会まであと2日!感染対策をしながらの体育大会が、みのりっ子みんなの力で成功することを祈るばかりでした。

10月5日大会前日最後の応援練習。雨のため、黄、青、赤の順に交代で体育館に集まり、各色10分ずつ練習しました。屋内なので、応援リーダーもマスクを着用しての練習です。6校時には5・6年生が大会準備をしました。「赤青黄 全力出し切れ 限界突破 みんなの力は無限大!」スローガンの看板も設置しました。

10月6日大会本番。未明の雨で校庭はやや湿っていたものの、10時頃には青空が広がり、爽やかな風が吹き抜ける絶好の日和となりました。赤組が2年連続の優勝を果たしました。午前中のみ開催とし、参観の保護者の方と児童が接触しないようにしたり、できる限りのマスク着用をしたりと、いつもとは違う大会になりましたが、大会を通して学ぶことの多い半日となりました。小学校初めての体育大会だった1年生は、「楽しかった」と言いながら下校していきました。



保護者の皆様にも感染対策にご協力いただき、無事開催ができました。心から感謝申し上げます。以下は、6年生と参観された保護者の方から寄せられた感想です。大会が子供たちの成長に大きく貢献していることが伺えます。

今年の体育大会で成長できたと思うことは三つあります。一つ目は班を引っ張っていくこと、準備をすることの大変さが分かったことです。今までの6年生のすごさが頭の深くまで理解できました。二つ目は見る視点が変わったことです。ついていく側ではなく、引っ張っていく側として班のみんなや学校の様子を前より広く見ていたと思います。みんなに掛ける言葉や態度も自然と変化しました。三つ目は自分たちで大会を創り上げたということです。応援を教えることや縦割り種目での声掛け、委員会の仕事など多くの役割があって、良い大会にするために一つ一つ頑張ることができたことに成長を感じました。下学年に、6年生の頑張りが伝わっているといいなと思います。(6年男児)

8の字跳びでの事。我が子は次の子に続いてすぐに入ることができず、必ず止まってしまっていました。縄を回していたお姉さんがとても大きな声で「今!今!今!」と合図をしてくれていて、終わった後、子供の横に来て何か話している様子でした。家で頑張りを褒めた後、もう少し続いて跳べたら良かったねと言うと「いつもよりは早く入れたの!」と言われてしまいました。(中略)班のお姉さんは「いつもより早く跳べるようになったね。頑張ったね」と伝えてくれていたのです。普段の様子を親の私は見られませんが、いっしょに練習していた子たちはちゃんと見てくれて、その頑張りを認め、しっかりと伝えてくれた事が本当に嬉しかったです。(2年生保護者)